

県道南新井前橋線（4期工区）バイパス整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路をつくります

地元の声

- ・災害時の安全な通行を確保するため、駒寄スマートICへのアクセス性を向上してほしい。(地元住民)
- ・道路が狭く歩行者、自転車が危険に晒されているため、安全性を向上してほしい。(学校関係者)



事業の概要

- 事業箇所: 榛東村新井
- 事業内容: バイパス整備 延長 2.6km 道路幅 12.5m
- 事業期間: 平成29年度～
- 緊急輸送道路: 該当(第一次緊急輸送道路)
- 現在の交通量: 5,258台/日(現道 自動車) (R3年度) 40台/日(現道 歩行者) 51台/日(現道 自転車)
- 計画交通量: 4,900台/日(現道 自動車) (R12年度) 8,900台/日(バイパス 自動車)

事業前

◆ 道幅が狭い上、朝夕の通勤帰宅時間帯を中心に交通混雑が発生しており、緊急輸送道路でありながら、円滑な車両の走行に支障をきたしています。



事業前の状況

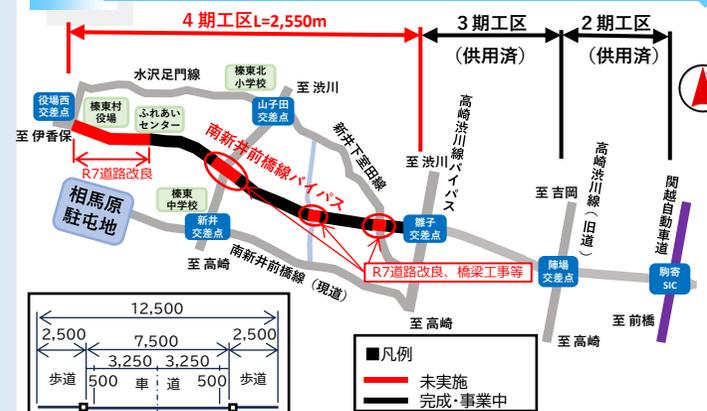
事業後

◆ 一般車をはじめ自衛隊車両等の緊急車両も、駒寄スマートICへの円滑なアクセスが可能になります。



事業後のイメージ

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

用地の取得が完了した箇所から順次道路改良工事を進めています。
令和7年度は、道路改良工事、橋梁工事を推進します。



成果を示す項目	実施前
移動時間(相馬ヶ原駐屯地→駒寄IC)	21分

実施後(目標)
9分(▲12分)